

適正な溝切り・中干しで 過剰分けつを抑制!

○中干し

① 中干しの効果

- ・過剰分けつを抑制し、籾数を適正にする。
- ・根を深くまで張らせて、気象変動の影響を受けにくくする。
- ・土の中で発生したガスを抜き酸素を供給し、根腐れを防止する。
- ・田面を固めることで、秋の収穫作業が容易になる。

② 中干しの程度

- ・田面に「小ヒビ」が入るくらいの軽めで幼穂形成期までに歩いて沈まない程度。
- ・* 過剰な中干しは、根を傷め、胴割粒・乳白粒の発生要因となります。

○水管理(間断通水)

- ・中干し後は、間断通水(入水～自然落水の繰り返し)で根の活力を保つことが重要です。
- ・* 中干し後のヒエには、使用時期を確認し、「クリンチャー」などを散布しましょう。

○雑草管理(カメムシ対策) - 6月中の草刈りは、殺虫剤散布に匹敵します!! -

- ・この時期に畦畔の草刈りを集落ぐるみで徹底的に行う事で、カメムシの生息密度が確実に減少し、出穂期頃の防除効果が格段に高くなります。
- ・休耕地や大麦刈取り跡、そば作付予定の圃場も刈払機やフレールモア等での除草や耕起を実施しましょう。
- ・特に、大麦跡にはカメムシの好む雑草が生えやすく繁殖地になります。

○大麦刈取り後の”雑草対策=カメムシ対策”を必ず実施してください!!

- ・大麦刈取り後の管理は“カメムシ対策”に大変重要です。未耕起の麦跡の圃場(特に、そば作付予定地)においては、毎年、下記のようなカメムシが非常に多く発生しています。草丈の短い麦跡の圃場でも、カメムシ類にとっては絶好の繁殖場所となります。
- ・早期に耕起をするか、除草剤+殺虫剤(スミチオン乳剤1000倍液)の散布でカメムシの発生数を抑えてください。なお、この対策はハナエチゼンの出穂前までに行ってください。
- ・「ハナエチゼン」の防除前の“カメムシ対策”として、雑草管理を実施してカメムシ類の生息数を減らすことが“最大のカメムシ対策”となります。



○大麦の刈取り時期について

- ・大麦の生育について、4月25日頃に出穂期を迎えており、昨年より10日程度遅くなっています。このまま順調に生育した場合、刈取り時期は6月上旬となります。
- ・刈取りの際は、今一度、圃場内の雑草管理と適期水分(25%以下)につとめてください。

収穫までのこまめな水管理で 良食味の「たんなん米」を!!

○除草(中・後期除草剤)

条間に生えているホタルイやオモダカなどの雑草は、放置しておくと、イネが栄養を必要とする幼穂形成期に雑草が栄養を吸収してしまいます。取りこぼした雑草が見られたら、抜き取るか、下記の対象草種や葉齢にあった除草剤を散布してください。

【移植】

対象草種	農薬名	10a当たり	使用時期
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	移植後 7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで
		1.5kg	移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで
広葉雑草	バサグラン粒剤	3~4kg	移植後15~55日 但し、収穫60日前まで
	バサグラン液剤	500~700mℓ	移植後15~55日 但し、収穫50日前まで
	粒状水中MCP	3~4.5kg	有効分けつ終止期～幼穂形成期前 但し、収穫60日前まで
ノビエと広葉雑草	マメットSM1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで
	ニトリリュウ1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで
	アクシズMX1キロ粒剤	1kg	移植後 7日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
	フルチャーJジャンボ	500g	移植後 5日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
	セカンドショットSジャンボMX	500g	移植後20日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫45日前まで
	クリンチャーバスME液剤	1000mℓ	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで

※新規取扱「セカンドショットSジャンボMX」について

初期剤、一発剤との体系で使用する中期除草剤です。中期に散布することを想定して作られたジャンボ剤で、拡散スピードが速く、稲が成長していても従来のジャンボ剤よりも拡散不良が起きにくくなっています。ノビエはもちろんSU抵抗性雑草から多年生雑草(オモダカ・クログワイなど)まで幅広い雑草に効果を示します。

(各種雑草の散布適期)

ノビエ	コナギ	アゼナ	クサネム	ホタルイ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ
3.5葉期まで	5葉期まで	草丈5cmまで	草丈10cm程度まで	草丈5cmまで	3葉期まで	草丈20cmまで	矢じり葉3葉期まで



【直播】

対象草種	農薬名	10a当たり	使用時期
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	播種後10日～ノビエ3葉期 但し、収穫30日前まで
		1.5kg	播種後25日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで
広葉雑草	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後 但し、収穫60日前まで
	バサグラン液剤	500~700mℓ	播種後35~50日 但し、収穫50日前まで
	粒状水中MCP	3~4.5kg	有効分けつ終止期～幼穂形成期前 但し、収穫60日前まで
ノビエと広葉雑草	ニトリリュウ1キロ粒剤	1kg	イネ4葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで
	アクシズMX1キロ粒剤	1kg	イネ1葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
	フルチャーJジャンボ	500g	イネ1葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
	クリンチャーバスME液剤	1000mℓ	播種後10日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで

○溝切り

- ・田植え後、約25日経過したら、茎数が目安本数あるか必ず確認してから溝切りを2回実施し、中干しを開始しましょう。
- ・軽く田干しを行い、土を落ち着かせてから深さ10cm程度で、溝の間隔は、圃場の状況により10~20条に1本の割合で行いましょう。

【溝切り開始の目安】

品種・作型・栽植密度	1株当たり茎数(平均)
コシヒカリ・移植・50株/坪 植え	20本/株
コシヒカリ・移植・60株/坪 植え	18本/株
あきさかり・移植・60株/坪 植え	20本/株
コシヒカリ・直播	100本/m

溝は排水溝につなげてください。

